

## 第5回南陽市教育委員会会議録

日時：令和7年5月26日（月）

午前10時00分～11時30分

場所：南陽市役所 庁議室

### 出席者

一番 山岸俊道

二番 鎌田一郎

三番 池田めぐみ

四番 相澤裕子

### 説明のため出席した職員

管理課長 鈴木博明

学校教育課長 安達心

史跡文化主幹 角田朋行

管理課長補佐 金子ちあき

学校教育課長補佐 志賀俊介

学校教育課指導係長 佐藤由紀子

学校教育課指導主査 高橋栄介

職務のため出席した職員 佐藤光緒

### 議事日程

#### 開 会

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議第31号 南陽市スクールバス運行管理規則の一部を改正する規則  
の制定について

日程第 4 協 議 通学区域（学区）変更について

日程第 5 諸般の報告

日程第 6 業務報告

（1）管理課 （2）学校教育課 （3）社会教育課

#### そ の 他

（1）連絡事項

次回定例教育委員会 令和7年6月25日（水）午前10時

#### 閉 会

## 開 会

### 日程第1 会議録署名委員の指名

教育長が池田めぐみ委員と相澤裕子委員を指名

### 日程第2 会期の決定

教育長が会期を本日1日限りとすることを決定

### 日程第3 議第31号

南陽市スクールバス運行管理規則の一部を改正する規則の制定について

- ・管理課長が、規則の改正案について説明
- ・南陽市スクールバス運行管理規則の別表のうち、宮内中学校の対象地区名の1つを「羽根地区」から「羽付地区」へ正しく変更する。
- ・学校事務の簡素化と教職員の負担軽減のため、主に小学校行事等で使用するスクールバス使用許可申請書の様式について、バスを配置している学校の学校長の押印欄及び学校内の決裁欄の省略を行う旨を説明

(原案のとおり承認)

### 日程第4 協議 通学区域(学区)変更について

- ・学校教育課長が別紙資料により、通学区域(学区)の指定変更者について説明

(原案のとおり承認)

### 日程第5 諸般の報告

教育長より報告

- ・第69回山形県縦断駅伝競走大会について  
4月27日から3日間行われたことを報告  
教育長自身が南陽東置賜チームの総監督を務め、3日間累計での総合優勝という結果となったことを報告  
悪天候の中であったが、選手全員が大変頑張っていたこと、中学生の活躍も見られたこと等を報告

えくぼプラザ前での応援に対して感謝を述べた。

- ・第1回置賜管内教育長会議について

4月30日に行われたことを報告

今年度新たに着任した教育長3名の自己紹介、挨拶が行われたことを報告

目黒置賜教育事務所長より、講師を配置できない学校が出ていることに対してのお詫び、置賜管内の課題、教職員の不祥事の撲滅、7教振の初年度であるため県民1人1人に意識してほしい旨等の話をいただいた。

- ・初任者研修について

南陽市教育委員会主催のもと5月9日に行われたことを報告

5名の初任者に対し、子供たちを1人の人間として尊重し真摯に向き合ってほしいということ、健康第一で頑張してほしいこと等を伝えた。

- ・第2回招集小中学校長会議について

5月9日に行われたことを報告

秋葉山の林野火災から1年経過したことや住宅火災増加の現状を踏まえ、防火意識を持ってほしいということ、県縦断駅伝応援のお礼、危機管理と職員間のコミュニケーションの重要性等を伝えた。

働き方改革については次回の会議で触れる予定である。

## 日程第6 業務報告

管理課長、学校教育課長、社会教育課長、史跡文化主幹より報告  
各課の議案書資料に基づき、業務報告を行った。

### 部活動改革推進委員会について

#### 鎌田委員

- ・部活動改革推進委員会の進捗状況について確認したい。

⇒学校教育課長：第1回の会議では、委員の委嘱についてや昨年度までの確認、今年度の活動内容の確認にとどまり、具体的な進捗はなかった。

#### 鎌田委員

- ・今年度の具体的な進め方について見通しを伺いたい。

⇒学校教育課長：令和8年4月から休日の部活動を地域展開する計画に基づき、どのような形で地域展開するかを具体化する必要がある。

7月と10月の会議で具体的な方策を作り上げるとともに、子供たちに不利益が出ないような移行や落としどころを検討していく。

鎌田委員

・南陽市としては、休日の部活動の地域展開を実施する方向で進んでいるのか。

⇒学校教育課長：実施する方向で進んでいる。

鎌田委員

・一部の関係者の方から、委員会の状況やビジョンが曖昧で分かりづらいという話を聞いた。

・国や県に準拠する流れに対する違和感はないのか、南陽市独自のやり方を検討する等の議論はされているのかを確認したい。

⇒学校教育課長：十分な議論とは言えないものの、第1回の会議では委員の方による意見交換が行われ、今後の方向性について議論できたと認識している。

相澤委員

・大人たちの話し合いや意思疎通が欠如しているように感じており、大人たちの進む方向性が不明瞭な中で、子供たちが部活動に思う存分取り組めるのか心配している。

・大人が子供のために時間をかけるべきだと思う。

⇒学校教育課長：Y o u T u b eのように、誰もが情報を得られるような発信の仕方を検討している。

今までの部活動の認識とは異なり、必ずしも平日と同じ部活動ではなく他のことをしても良いという南陽市としての考えについて、理解を得られるよう努める必要があると考えている。

鎌田委員

・平日の部活動の地域展開も実施する方向で進んでいるのか。

⇒学校教育課長：現状では休日の地域展開のみを検討しており、平日については考えていないが、クラブ側からの要望があれば否定するものではないと考えている。

鎌田委員

・休日限定の地域展開であれば理解を得やすいものの、平日を含めた地域展開には大きなリスクがある。

・国の方針と異なる南陽市独自の路線を検討する覚悟がないと、委員会も前へ進められないのではないか。

⇒教育長：これまでに経験のない壮大な改革のため、試行錯誤しながら進めているところがある。

南陽市としては、現時点では休日のみの地域展開とし、平日の地域展開は行わない方針としている。

相澤委員

- ・上の立場の方から地域の方へ伝達する流れが必要だと思う。

鎌田委員

- ・委員会のメンバーが充て職であるため議論が進まないのではないか。
- ・文化系の部活動も含めて議論されるべきだが、実際のところ運動系の部活動中心の議論となっているように感じる。

⇒教育長：いただいた意見を参考に委員会を進めるよう依頼

G I G Aスクール構想について

鎌田委員

- ・南陽市のG I G Aスクール構想は、設備や考え方について国や県に準拠する形で進めるのか確認したい。

⇒管理課長：設備について、国の方針に沿って進めていく。

鎌田委員

- ・南陽市の予算が不足しているため、国の方針に可能な範囲で対応しているという認識でよろしいか。

⇒管理課長：当初予算に計上予定だったが、県の共同調達における仕様が未定で予算の裏付けがなかったため、仕様決定後に市長と協議することとなった。

協議の結果、7年度から8年度へ延期して予算要求することとなったという経過がある。

鎌田委員

- ・予算面も考慮して県の方針に準拠しようとしているという認識でよろしいか。
- ・G I G Aスクール構想の有効性について議論は行われたのか。

⇒管理課長：前者は認識のとおりである。

後者については、有効性についての議論は行われなかった。

OS (Windows、Android、iPad) ごとの仕様に関する議論に参加し、他の自治体と足並みを揃えて共同調達を進めていく予定である。

鎌田委員

- ・調達にあたり、デジタル教科書を使用しない可能性についてまでは議論されていないという認識でよろしいか。
- ・将来的に不要になる可能性もあるが、国や県の方針に沿った整備が進んでいるという認識でよろしいか。

⇒管理課長： いずれも認識のとおりである。

教育長： G I G Aスクール構想は国の重要政策であり、南陽市もその流れに沿って子供たちのために進めていく方針である。デジタル教科書の使用については今後議論されると思われる。

鎌田委員

- ・各自治体の事情に応じた柔軟な対応が望ましいと捉えているので、国や県の方針に安易に従うのではなく、南陽市も疑問を持ちながら対応してほしいと思う。

⇒教育長：議員の方から議会で同様の質問をいただいた際は、国や県の方針に安易に従うのではなく、得られる効果も含めて検討していく旨を回答した。

初任者について

- ・鎌田委員からの初任者5名の現状についての質問に対し、学校教育課長が各初任者の担当学年や、担任を持っているかについて説明

不登校問題に対する対応について

相澤委員

- ・学校教育課の先生方の取り組みがとても良く伝わってくる。
- ・一般社団法人等が運営する不登校の子供のための居場所と学校との関係性について、学校と保護者間では情報共有が行われている一方、学校と居場所間では直接の情報共有が不足している現状があるため、課題であると感じている。
- ・居場所と学校との連携を積極的に行ってほしいと思う。

⇒学校教育課長：市では、ガイドラインで居場所の存在と子供の利用方法を明確に定めている。

居場所と学校との関係性の改善が情報共有の促進につながることで、不登校問題は個別に対応する必要があることを踏まえ、居場所を有効活用しつつ、子供たちがいつでも学校に戻れるような環境づくりに努めていく。

相澤委員

- ・居場所によって不登校の子供が増えるのではないかという意見を一部の方から聞いたが、居場所を利用するのは学校生活に困難を抱えている子供であり、本来子供には学校に通いたい気持ちがあると考えている。

学校教員が不登校の子供が利用している居場所の見学を依頼したところ、居場所側は保護者や本人への確認が必要と回答し、結果的には依頼を拒否したというケースがあったことを踏まえ、居場所と学校との関係性が子供にも影響を与えてしまうのではないかと懸念している。

⇒教育長：課題として認識すべきだと思う。

二十歳のつどいについて

鎌田委員

- ・先日行われた二十歳のつどいの状況について伺いたい。
- ・市長からの話にワクチンに関する話は含まれていたのか確認したい。

⇒史跡文化主幹：式典は整然と落ち着いた雰囲気で行われた。

教育長：ワクチンに関する話は含まれていなかった。

山岸委員

- ・毎年同様の意見になるが、市長が式典中に壇上から降りて歩きながら話をするのはいかがなものかと思う。

鎌田委員

- ・先ほどのような意見は市長や関係部署に伝わっているのか。

⇒史跡文化主幹：社会教育課としては伝えていない。

山岸委員

- ・会議録が公開されるため、教育委員会内で出た意見は伝わるだろうと思う。

鎌田委員

- ・山岸委員の意見に賛同する。

相澤委員

- ・第2部であった先生方からの激励の言葉は、参加者に好評だったと感じている。
- ・市長の壇上から降りて話す行動について、和気あいあいとした雰囲気となっていたため、式典としてはどうなのかと思う。

鎌田委員

- ・二十歳のつどいの実行委員会は前年を踏襲した形式で運営されているが、成人の方に企画運営を委任するような形式変更は考えているか。

⇒史跡文化主幹：形式変更の話は、社会教育課長からは聞いていない。

鎌田委員

- ・他の自治体では多様な形式を採用している一方、南陽市の形式は堅苦しいと感じている。

教育長

- ・実行委員や成人の方から形式変更の要望は出ているのか。

⇒史跡文化主幹：要望について、社会教育課長からは聞いていない。

山岸委員

- ・吉野地区における二十歳のつどいの実行委員の選定方法について、公民館長への依頼という形式であると聞いた。
- ・自主的な立候補とは異なるため、二十歳のつどいの実行委員会は前年踏襲になりやすいのではないかと推測する。

相澤委員

- ・小中学校から自主自立をうたっているので、徐々に自ら意見表明できるようになってほしいと思う。
- ・今までの形式や考え方を変えていくべきだと思う。

鎌田委員

- ・実行委員を増員し、オンライン会議等を活用することであれば可能ではないか。

相澤委員

- ・成人した方の中から、二十歳のつどいに携わってもらうのも良いのではないか。

鎌田委員

- ・成人の方のために、飲み会の補助費は今年支給されているのか確認したい。

⇒学校教育課指導主査：コロナ禍の2年間のみ補助費を支給し、それ以降は支給していないと認識している。

教育長

- ・コロナ禍以前も補助費はなかったのか。

⇒学校教育課指導主査：コロナ禍以前も支給していない。

鎌田委員

- ・コロナ禍の時期だとしても、飲み会の補助費を支給するべきではないと思う。

学校における指導等について

鎌田委員

- ・ある市内小学校の6年生について、教員が「子供たちに課題が多くて幼い」と発言したことは大きな問題だと感じている。
- ・子供たちを褒めたり関わり方を工夫したりする等、教員がすべきことは数多くあると思う。
- ・学校に行った際、学校教育課としてどのように感じたのか伺いたい。

⇒学校教育課指導係長：当該教員の話が全てではないが、教員側の危機感があまり見られないように感じた。

鎌田委員

- ・教員の危機意識が不足しているということについて納得した。

相澤委員

- ・子供と教員間のコミュニケーションが不足しているのではないかと思います。

鎌田委員

- ・働き方改革によって、強い言い方等による管理職の方の指導が制限されており、管理職の方と教員、そして子供にそれぞれ不満が生じているのではないかと推測している。
- ・当該小学校について、とても心配している。

相澤委員

- ・管理職の方と教員間の人間関係が大事だと思う。
- ・管理職の方、いわゆる校長先生が教員の良いところを積極的に評価し褒めることで、同様に子供の良いところも見えてくるのではないかと推測している。

鎌田委員

- ・先ほどとは別の市内小学校について、校長先生と教員の関係性は良好なのか。

⇒学校教育課長：ある教員から、校長先生による指導に関する相談を受けたため、現在対応を検討している。

鎌田委員

- ・知人からの情報を基に確認したところ、学校全体として教員間の関係性があまり良くないのではないかと感じている。
- ・指示命令に従うだけの関係性になっているのではないかと心配している。

⇒学校教育課長：受けた相談と似たような印象を抱いた。

## その他（１）連絡事項

次回定例教育委員会について管理課長補佐より連絡

沖郷小学校訪問について

- ・ 学校教育課指導係長より、資料を基に６月２５日の午後から予定されている沖郷小学校の訪問について説明
- ・ 翌日が６年生の修学旅行であるため、４年生と５年生の希望により、一部の児童が参加すると説明

鎌田委員

- ・ 修学旅行前日の訪問で問題はないのか。

⇒学校教育課指導係長：学校の許可を得ている。

教育長

- ・ 訪問時、６年生は学校にいるのか。
- ・ ６年生の授業は参観できるのか。

⇒学校教育課指導係長：６年生の大半はすでに下校しているが、一部の児童に残ってもらう。

６年生の授業参観自体は可能で、授業終了後に下校する予定である。

## 閉 会

教育長が令和７年５月１６日付け南陽市教育委員会告示第８号をもって招集した第５回南陽市定例教育委員会の閉会を宣言